

平成23年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名	ソーシャルキャピタルの特性に応じた地域防災力向上方策に関する研究		担当部局庁	国土技術政策総合研究所		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	H21/H23		担当課室	危機管理技術研究センター		土砂災害研究官 西真佐人		
会計区分	一般会計		施策名	44 技術研究開発を推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—		関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国土交通省が所管する施設について住民参加型の点検や住民参加型ハザードマップの作成等のソーシャルキャピタルの特性に応じた地域防災力向上方策を提案することで、災害に対する備え、防災情報の認知力、避難力の向上等による被害軽減に資することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	本研究では、地方公共団体や住民団体などによる地域防災力向上の取り組みを国土交通省が支援するためのガイドラインを作成し、取り組みの主体が個々の地域の抱える課題や対象となる施設の種別に応じて、適切な向上方策を選定できるなど効率的な運営を行えるようにするため、既往の取り組みと課題を整理する。整理に当たっては、国土交通省が所管する代表的な防災施設(河川堤防、砂防施設、海岸堤防)の種別ごとについてとりまとめ、取り組みを効果的かつ継続的に行うために検証可能なものとする。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	-	13	11	11	-	
	執行額	-	13	9				
	執行率(%)	-	100.0%	81.9%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	定量的な成果指標を示すことができない。 (理由)本事業は技術研究開発であり、事業実施の成果が現れるのは、事業完了後となるため。		成果実績					
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	定量的な活動指標を示すことができない。 (理由)本事業は技術研究開発であり、箇所数、件数、人数等で事業の進捗を表すことができないため。		活動実績 (当初見込み)					() ()
単位当たりコスト	単位当たりコストを示すことができない。 (理由)本事業は技術研究開発であり、事業実施中において定量的な成果実績や活動実績を示すことができないため。		算出根拠					
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	職員旅費	1	-					
	試験研究費	9	-					
	-	-	-					
	-	-	-					
	-	-	-					
	計	11	-					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	・外部有識者による評価委員会において「研究の背景を踏まえた研究の必要性」等に関する『事前評価』を受け、国総研が実施すべきという評価を得た上で研究に着手している。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	・支出先(業務請負者)選定の妥当性については第三者機関である技術提案評価審査会により審議していただいている。 ・業務着手時には業務計画書の提出を求めるとともに、打合せや完了時に行う検査により業務の実施状況及び成果を把握している。 ・業務の主たる部分に係る再委託は禁止している。また、主たる部分以外の再委託は、軽微なものを除いては、再委託承諾申請を求めており、支出先・使途を確認している。本事業においては、再委託承諾申請を要する再委託はない。
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	・事業開始前に外部有識者による「効率性(研究の実施方法、実施体制)」、「有効性(成果の見込みと活用方針)」等の評価項目に関する『事前評価』を受けている。 ・事業終了後には「当初の目標に対する達成度」、「研究成果と成果の活用方針」等の評価項目に関する『事後評価』を受けることとしている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		<ul style="list-style-type: none"> ・外部有識者による評価委員会において「必要性(研究の背景を踏まえた研究の必要性)」、「効率性(研究の実施方法・体制の妥当性)」、「有効性(研究成果の見込みと成果の活用方針)」に関する『事前評価』を受けたうえで研究に着手している。 ・本事業は、外部有識者による「事前評価」において、国総研が実施すべき課題であると評価されている。 ・また、事業終了後には「当初の目標に対する達成度」、「研究成果と成果の活用方針」等の評価項目に関し、外部有識者による『事後評価』を受けることとしている。 ・業務発注にあたっては、あらかじめ検討項目、調査対象範囲等について所内審査を行っている。 ・支出先の選定については、価格競争や企画競争により競争性の確保に努めている。 ・また、委託先の選定にあたっては第三者機関である技術提案審査委員会による審査を行うこととしており、的確な予算の執行に努めている。 <p>【前回の指摘を踏まえた執行上の改善点】 年度末に当該年度の活動実績や成果の活用状況(見込み含む)について所内評価を行った。また支出先については、価格競争や企画競争により競争性の確保に努めた。</p>	
予算監視・効率化チームの見解			
廃止 ② ⑧		平成23年度中に一定の研究成果を得られる見込みであることから、本事業は廃止する。なお、事業効果の検証について、全研究共通の取組を述べるのみでは不十分。個々の研究ごとの取組と成果を具体的に明らかにすること。	
上記の予算監視・効率化チームの見解を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
平成23年度中に所要の成果が見込まれることから廃止。 なお、本事業により得られる成果は「国土交通省所管施設におけるソーシャルキャピタルを活用した地域防災力向上のためのガイドライン」に反映予定であり、平成24年度中に「当初の目標に対する達成度」、「研究成果と成果の活用方針」等の観点から外部有識者による事後評価を受ける予定。			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
—			

国土技術政策総合研究所
9百万円

地域防災力を向上させる取り組みにおける地域防災組織等のソーシャルキャピタルの役割分析
地域防災力向上の取り組みにおけるソーシャルキャピタルの役割の類型化

試験研究旅費等 0百万円

【簡易公募型プロポーザル方式】

A. 建設技術研究所(株)
9百万円

地域防災力向上方策に関する調査業務
地域防災力向上の取り組みに関する資料収集およびソーシャルキャピタルとの関係性分析補助

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

A. (株)建設技術研究所			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
その他	諸経費	4			
人件費	業務担当者人件費(地域防災力向上に向けた取り組みに関する事例収集、国土交通省所管施設ごとの地域防災力向上に向けた取り組み事例の整理、地域防災力向上に向けた取り組みの	3			
その他	技術経費	2			
その他	直接経費、消費税	1			
計		9	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につい
 て記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)建設技術研究所	地域防災力向上方策に関する調査業務	9	随意契約 (企画競争)	99.6%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					